

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年9月16日
派遣決定番号
報告回次 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	飯南町	代表者名	町長 塚原隆昭
担当者部署	まちづくり推進課	連絡先電話番号	0854-76-2864
担当者役職	主幹	担当者氏名	安部亜裕子
		連絡先E-mail	
住所	690-3513 島根県飯南町下赤名880		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	新たに完成したブランドメッセージの発表方法について、講演会ではなく住民参画型のイベントにすると町民の印象に残り、今後の地域活動への参画意識も高まると助言をいただき、イベントを実施。 当日はアドバイザーに住民とのトークセッションという形式で、ブランドメッセージ作成の意義やICT等を活用して住民自らがまちの魅力を発信していく重要性をわかりやすく講演いただいた。町長、高校生など多様な背景のある登壇者から様々な意見を引き出し、聞いている住民にとってもICTの活用や地域づくりへの参画を身近なものに感じられるトークセッションとなった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年9月11日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			13時30分	16時00分	
				活動時間(分)	150
3-2.	会場名	飯南町来島連坦地	最寄駅	松江駅	
派遣場所	所在地	島根県飯石郡飯南町野萱	最寄駅からの交通手段	公用車での送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	住民参加者、役場職員、町議会議員等	50人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	若い世代の地域参画が少ない。その一因として、若い世代に情報が届いていないという問題が挙げられる。また、地域づくりを自分事として捉え、積極的に関わりを持つしくみづくりが不十分ではないかという課題がある。ICTを活用して若者に情報を伝え、主体的に地域づくりに参画してもらえる仕組みづくりが必要である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	講演を聞いた住民が、「まちの魅力とは何か」「自分は地域とどう関わることができるのか」を考え、行動につなげることが目標。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・本町が新たに定めたブランドメッセージの発表方法について、講演会等ではなく住民参画型のイベント実施が良いと助言いただいた。 ・ブランドメッセージを用いたシティプロモーション、ICTを活用したシティプロモーションについて、町民とのトークセッション形式で講演。 ・住民が魅力を主体的に発信することの重要性、地域との関わり方について住民に向けて講演	

	住民の魅力を主体的に発信することの重要性は、地域この内外の両方について住民に問うて確認。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	- ICT (SNSなど) を活用しての発信は住民も手軽にできる情報発信だということ、主体的に発信する人が増えることがまちのプロモーションにつながることを町民にわかりやすく講演いただいた。 - ICTを活用する際の注意点、若者のICTツールの活用傾向などを具体的に指導いただき、本プロジェクトはもとより、自治体としての情報発信力を高める工夫ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	聴講者が自らと地域づくりについて考えるきっかけとなった。今後どのような行動につなげていくか、ICTツールの具体的な活用については明確に示しておらず、今後個別に相談を受け推進していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 イベントの中でのステージ企画としてトークセッションを実施。硬い雰囲気ではなく、多くの人に気軽に講演を聞いてもらいたかったのでアンケートは実施しないことにした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	- ブランドメッセージをもとにしたシティプロモーション事業におけるICT活用とそれによる住民参画の増加。 - ICTを活用して住民自身がまちの魅力を発信するしくみづくり。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。

なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



